【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【公開番号】特開2019-73845(P2019-73845A)
【公開日】令和1年5月16日(2019.5.16)
【年通号数】公開・登録公報2019-018
【出願番号】特願2018-226170(P2018-226170)
【国際特許分類】
Ａ４１Ｄ　13/11　(2006.01)
Ａ６２Ｂ　18/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｄ　13/11　Ｍ
Ａ６２Ｂ　18/02　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成31年4月9日(2019.4.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マスク本体、鼻孔及び／又は口の接触部及び1日当たり250μgの195倍のシンナムアルデヒドが空気中に実質的に放散される量のシンナムアルデヒドを含有する吸着層を含み、前記吸着層が前記マスク本体と前記鼻孔及び／又は口の接触部間に挟まれていることを特徴とするインフルエンザ予防用マスク。
【請求項２】
マスク本体、鼻孔及び／又は口の接触部及び少なくとも1日当たり250μgの195倍のシンナムアルデヒドが空気中に放散される量のシンナムアルデヒドを含有する吸着層を含み、前記吸着層が前記マスク本体と前記鼻孔及び／又は口の接触部間に挟まれていることを特徴とするインフルエンザ予防用マスク。
【請求項３】
マスク本体、鼻孔及び／又は口の接触部、シンナムアルデヒド若しくはシンナムアルデヒドを主成分とするシナモン抽出物を塗布又は含浸可能な吸着層を含み、該吸着層が該マスク本体と該鼻孔及び／又は口の接触部間に挟まれており、並びに、空気中で0.7mg/h～5.0mg/hのシンナムアルデヒドを放散することを特徴するインフルエンザ予防用マスク。